

早稲田大学 基幹/創造/先進理工学部 化学 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	120分（物理・化学・生物より2科目）
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
[ ]	小問集合	原子量と存在比、分子結晶の密度、蒸気圧降下、酸化数、金属イオンと沈殿、コロイド、異性体、アミノ酸、陽イオン交換樹脂など全て標準的な問題である。	標準
[ ]	理論	二酸化炭素に関連する総合問題。熱化学、気体の法則などは標準的な問題であるが、炭酸の電離平衡の計算問題はやや応用レベルである。	標準～やや難
[ ]	有機	C <sub>8</sub> H <sub>8</sub> O <sub>2</sub> の構造決定の問題。芳香族エステル	標準

〔総合コメント〕

標準的な問題が中心で、化学の基礎知識が十分ならば対応できる。ただし、例年、有機に関しては、立体異性体、天然物などの構造決定が頻出であり、難解な問題も多く、応用レベルでの対策が必要である。また、理論では例年、化学平衡の応用問題が出題されているので、今後ともこの単元は要注意である。